



南あわじ市

議会だより

NO.24

平成22年8月1日発行

主な内容

- 第32回臨時会…………… 2 ～ 3
- 第33回定例会…………… 4 ～ 5
- 委員会での議案審査…………… 6 ～ 8
- 一般質問…………… 9 ～ 15

慶野松原海水浴場の海開きに合わせて、松帆小学校と湊小学校の児童が海岸清掃、地引き網体験を行いました。(7月13日)



第32回臨時会 議決結果一覧

提案	件名	議決結果
市長	「戦没学徒記念若人の広場」取得に係る3議案 ● 訴訟上の和解（2財団との和解） ● 一般会計補正予算（土地建物購入等3,263万円を追加） ● 財産（土地建物）の取得	原案可決
市長	地方自治法に規定する執行機関の附属機関たる審議会等を、条例で設置するための専決処分の承認（16件） ● 行財政改革審議会 ● 指定管理者候補者選定委員会 ● 事業評価監視委員会 ● 障害者福祉施設地域活動支援センター通所判定委員会 ● 地域福祉計画策定委員会 ● 地域包括支援センター運営協議会 ● 地域密着型サービス運営委員会 ● 訪問看護ステーション運営委員会 ● 老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会 ● 老人ホーム入所判定委員会 ● 予防接種健康被害調査委員会 ● 次世代育成支援対策地域協議会 ● 学校等適正規模及び教育施設検討委員会 ● 教育に関する事務の点検及び評価委員会 ● 学校結核対策委員会 ● 学校就学指導委員会	承認
市長	地方税法等の一部改正に伴う、税条例の一部を改正する条例制定の専決処分の承認	承認
市長	地方税法の改正に即し、国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の専決処分の承認	承認
市長	公用車の事故に伴う、損害賠償額の決定の専決処分の承認	承認

おかえり、若人の広場



▲戦没学徒記念若人の広場

「戦没学徒記念若人の広場」は昭和40年に南淡町が（助動員）学徒援護会に土地（7万2460㎡）を無償供与し、昭和42年に慰霊塔を建設、完成式を挙行しました。その後、戦没者の遺品等を展示する展示館を展示する次いで研修施設「大見山荘」が建設され、淡路島の観光施設として多くの観光客を迎えてきました。平成7年には、施設の老朽化、加えて阪神淡路大震災の被害に

第32回臨時会が5月20日に開かれ、次のページの通り、専決処分（※）19件、及び「戦没学徒記念若人の広場」に関する議案3件が上程され、承認及び原案可決されました。

第32回臨時会

「戦没学徒記念若人の広場」は昭和40年に南淡町が（助動員）学徒援護会に土地（7万2460㎡）を無償供与し、昭和42年に慰霊塔を建設、完成式を挙行しました。その後、戦没者の遺品等を展示する展示館を展示する次いで研修施設「大見山荘」が建設され、淡路島の観光施設として多くの観光客を迎えてきました。平成7年には、施設の老朽化、加えて阪神淡路大震災の被害に

より、閉鎖、放置されてきました。その後、再開に向け様々の働きかけを、若人の広場を所有する（助動員）学徒援護会、（助動員）学徒記念若人の広場及び国、県におこなってききましたが、この度、両財団との和解が成立し、今回の議決により土地、建物、及び構築物（慰霊塔）は晴れて南あわじ市所有となりました。今後、公園化に向けての整備が行われていく予定です。

※専決処分とは、市長が議会に代わって意思決定を行うことであり、専決処分をすれば議会が議決したと全く同じ法律効果が発生します。専決処分が許されるケースとしては、多くの場合、市長が議会の議決すべき案件について特に急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認められた時に行われますが、我々議会としてはその運用を真剣に見守らないといけないと考えています。

討論

行財政改革審議会条例の専決処分の承認

反対 蛭子智彦議員

違法に設置された審議会について、専決処分に対応することは議会軽視の繰り返しであり執行部に反省の姿勢がみられません。単に承認することは議会の存在が問われます。

学校等適正規模及び教育施設検討委員会条例の承認

反対 蛭子智彦議員

行財政改革審議会条例の専決処分に同じく、軽々しく議会が扱われ、議会の存在意義が問われます。このような重大な問題は、委員公募で幅広く市民参加を求めるべきものです。執行部の対応は不十分です。

訴訟上の和解

賛成 蛭子智彦議員

戦没学徒慰霊塔の再建は市民のみならず国民的課題であり、無念の内に散華した霊を慰めるのは我々の責務です。この課題解決に足を一歩踏み出す訴訟上の和解について心からの賛意を表明するものです。

「若人の広場」関係議案を審査

総務常任委員会

訴訟上の和解について

問 和解金3000万円。財団はどうなるのか。

答 予定では清算手続きに入る。

問 固定資産税の滞納分は。全額減免を考えている。

一般会計補正予算（第1号）

問 今後の管理体制について。

答 市に管理責任があるため、整備が完了するまで立ち入り制限をおこなうが、今後、一時的な開放について検討する。

財産の取得について

問 公園整備の検討組織については透明性を高めるべき。

答 県が主体となった場合は伝えたい。

第33回定例会 議決結果一覧

提案	件名	議決結果
市長	一般会計補正予算(大鳴門橋記念館屋外整備工事費1,000万円、ヒブワクチン予防接種費負担金120万円など、歳入歳出それぞれ1億8,062万円を追加)	原案可決
市長	税条例の一部改正(①個人市民税に係る給与所得者及び公的年金受給者の扶養親族申告書の創設。②たばこ税率の改正。③非課税口座内上場株式等の譲渡に係る市民税の所得計算の特例の創設)	原案可決
市長	国民健康保険税条例の一部改正(地方税法等の改正に伴い、基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額の限度額引き上げ)	原案可決
市長	福祉医療費助成条例の一部改正(母子家庭等医療費助成事業で母子家庭の母及び父子家庭の父が、後期高齢者医療の被保険者であった場合でも医療費助成の対象となる)	原案可決
市長	市職員が育児しやすい労働環境づくりのための条例改正(全2件)	原案可決
市長	市職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正	原案可決
市長	「執行機関の付属機関たる審議会等」の委員等の報酬を規定する部分の改正	原案可決
市長	灘黒岩水仙郷の指定管理者の指定(灘黒岩自治会が管理運営。平成25年3月末まで)	原案可決
市長	地籍調査に伴う、字の区域の変更	原案可決
議員	議会政務調査費の収支報告書を公開するための条例改正	原案可決
議員	7価肺炎球菌、子宮頸がんワクチン公費助成を求める「請願」と「意見書」(2件)	採択、可決
議員	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度の2分の1復元と堅持に関する「請願」と「意見書」(2件)	採択、可決
議員	県立淡路三原高校の平成23年度募集定員を320名とすることを求める意見書	原案可決
議員	口蹄疫蔓延防止対策の充実強化を求める意見書	原案可決
市長	人事案件(全3件。9ページに掲載)	同意、適任

『ブルーベリー園』整備工事費
ヒブワクチン予防接種費負担金等に追加補正
口蹄疫蔓延防止対策を求める意見書を可決



▲大鳴門橋記念館に整備する「ブルーベリー園」のイメージ



▲新たな観光スポットとして期待される「ブルーベリー園」

第33回南あわじ市議会定例会が6月9日、28日まで開かれました。

第33回定例会

市長提出の一般会計補正予算をはじめとする10議案と同意3件。議員発委による口蹄疫蔓延防止対策を求める意見書や、議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定など5議案。請願2件を含め合計20

議案が上程されました。慎重審議の結果、すべての議案が可決、承認されました。

討論

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

反対 蛭子智彦議員
国保財政の苦しさも理解できますが、一番苦しんでいるのは市民であり、上がりすぎた保険税を下げるべき時です。限度額引き上げは、その課題につながるものではなく、市民生活の困難を拡大し賛成できません。



▲甘ずっぱくて、みずみずしいブルーベリー

委員会で議案を審査

各議案について、担当する3つの委員会で審査しました。委員会で特に議論した内容を掲載します。

総務常任委員会

一般会計補正予算 (第2号)

基金事業補助金及びその事業について。

【消費生活センター】
消費者行政活性化
【就学支援】
相談員に臨時職員1名を追加雇用し、多重債務等の相談業務を行うものである。

【生活保護】
生活保護費の受給状況と就労支援は。市内には、186世帯が受給されており、4名のケースワーカーで訪問している。今回の臨時雇用する就労支援員は、50歳以下の受給者に働く機会が得られるよう支援するが業務。

【市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定】
育児休業については、地方公務員の育児休業等に関する法律では3歳未満までであるが、民間の場合は1歳未満となっている。市として独自の対応は。

【大鳴門橋記念館】
大鳴門橋記念館の建物の南側の一部分を鉄骨で組み、フェンスで囲い、鳥獣害の防護を行うとともにブルーベリー等の果物の栽培収穫体験をできるようにする。



▲南あわじ市消費生活センター（三原市民センター2階）

大鳴門橋記念館

【大鳴門橋記念館】
淡路鳴門岬公園開発基金1250万円を取り崩し

ヒブワクチン

【ヒブワクチン】
ヒブワクチン予防接種費負担金について。

【賃金保障】
無給であるが共済より塚補完される。取得状況は、女性は100%で、平成22年6月21日現在11名が育児休業中であり、臨時職員も対象となっている。

文教厚生常任委員会

税条例の一部を改正する条例制定

【扶養親族申告書について】
従来は年末調整等で所得税を申告されたものを市民税の申告に使用していたが、今回、税法の改正により所得税の年少扶養控除が廃止されたが、市民税を課税するのに必要な扶養親族の情報を得るための申告書である。

【たばこ税の税率改正分を今年度の予算に見込んでいるのか】
前年度比103.7%、3億2千万円を見込んでいます。また、禁煙ブームで減少傾向にあるのと10月1日からの増税の影響により、本数ベースで本年10月までは前年度比の92%、11月からは前年度比の80%を見込んでいます。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

【基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額の限度額引き上げにより影響を受ける世帯、税額は。】
影響を受けるのは380世帯で1489万円程度の増収になる。

福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定

【母子家庭の母及び父子家庭の父が後期高齢者の被保険者になる場合があるのか】
後期高齢者の被保険者は75歳以上または、65歳以上で一定の障害者を持たれて承認を受けられた方であり、75歳以上の方が18歳未満の子がいるケースは非常に少ないと思われるが、養子縁組した場合等には該当する。

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度の2分の1復元と堅持を求める意見書

【意見書提出先】 文部科学大臣、総務大臣ほか
【要旨】
平成18年度、義務教育費国庫負担金の国庫負担が均等地に削減された。教育予算の地方交付税に依存する度合いが高く、地域間格差を広げている。国庫負担割合を均等に復元すること。OECD諸国並みの30人以下学級を推進することを求める。

県立淡路三原高校の平成23年度募集定員を320名とすることを求める意見書

【意見書提出先】 兵庫県知事、県教育委員長ほか
【要旨】
平成22年度高校入試では、市内中学校卒業生に対する淡路三原高校開門率は51%だった。淡路学区平均78%と比較すると極端に低い状況にある。これにより市内在住の生徒の多くは、遠距離通学を余儀なくされ、交通費や通学時間などの負担が大きい。募集定員を8クラス320名とすることを強く要望する。

7価肺炎球菌、子宮頸がんワクチン公費助成を求める意見書

【意見書提出先】 厚生労働大臣、兵庫県知事ほか
【要旨】
肺炎球菌は、子どもの髄膜炎、肺炎などの重度の疾患の起因菌。子宮頸がんワクチンは、子宮頸がんの発生を90%以上抑制すると言われている。2歳未満の乳幼児に対する7価肺炎球菌ワクチンの公費助成を行うこと。10歳から15歳までの女兒に対する子宮頸がんワクチンの公費助成を行うことを求める。

産業建設常任委員会

灘黒岩水仙郷の指定管理者の指定

問 指定管理者との協定を結ぶにあたって7月にずれ込んだ要因は何か。また、施設使用料の算出根拠は。

答 昨年10月より地元自治会と協議を重ねてきた。遅れた大きな要因としては、運営にかかわる地元自治会の従事者が高齢となり急傾斜のうえ、広さ2万6千㎡もある施設内の草刈作業等、施設の維持管理が難しくなっていること。利用料金収入3200万円のうち施設の管理運営経費2400万円、800万円は市への施設使用料としておりましたが、今回は、草刈作業等の外部委託費として1000

万円を上積みし、管理運営経費2500万円にしている。

問 管理棟等の付帯施設の老朽化が進んでいるが把握しているか。また、老朽化した建物全体としての改修は。観光施設での安全性を確保するため、順位をつけ施設使用料で対応している。また、施設の安全を確認するために、専門家に確認していただき、安全な施設となるよう改修を検討したい。

答 園地では海岸部分を除いてほぼ網で囲っている。水仙郷の周囲については、産業振興部で対応しているが、維持管理において、一部農業振興部と協議しながら対応していききたい。



▲灘黒岩水仙郷

問 水仙が鹿の被害にあっているが、その取り組みは。

答 園地では海岸部分を除いてほぼ網で囲っている。水仙郷の周囲については、産業振興部で対応しているが、維持管理において、一部農業振興部と協議しながら対応していききたい。

口蹄疫蔓延防止対策の充実強化を求める意見書

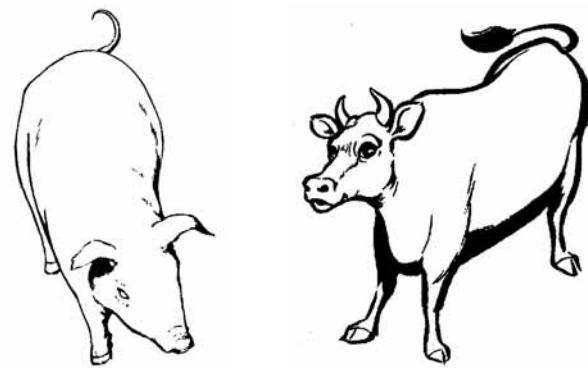
■意見書提出先

農林水産大臣、経済産業大臣ほか

■要旨

平成22年4月20日、宮崎県で発生した家畜伝染病口蹄疫は、6月20日時点で発生件数291例、殺処分対象とされた家畜は19万9293頭となっている。事態の収束には至っておらず、全国の畜産関係者が多大な不安を感じている。本市は畜産農家が571戸あり、和牛4470頭、乳牛5493頭、豚1014頭を有しており、万一、口蹄疫が発生すれば畜産農家に限らず基幹産業である農業全体が影響を受け、その被害は計り知れないものとなる。

国において、蔓延防止、被害農家に対する支援の充実、風評被害の防止等について緊急に取り組まれるよう強く要望する。



市民連合・無所属クラブ 印部 久信 議員



新庁舎建設と街づくりについて

問 市民憲章、市の花・木、市民音頭をどの様な思いで制定されたのか。

市長 新しい自治体南あわじ市ができ5年経過、市民の一体化、市の方向性の中で当然決定して行くべきとの思い。

問 平成19年には、行政報告、今回は新庁舎建設について市内21ヶ所回られた。新市一体化についての感想は。

市長 19年は旧町意識が残っていた様に思う。今回は庁舎の関係が主であり主体的な質問要望が多く、一部の反対

意見もあったが総体的には一つの形づけをすべきという意見もあった。

問 四町分庁舎方式をやめ新庁舎を建設する。南淡・西淡・緑庁舎には50人、60人の職員がいる。それが2人、3人の職員になる。それだけでも地域が疲弊する。跡地の有効利用、過疎化対策等将来の市の街づくりの大方針を審議し、地域の人達に示し概ねの理解を得る必要がある。四庁舎を一つにすれば経費が安くなるのは分かっている。

市長公室長 新庁舎建設から動くのではなく、並行してやりま

宮崎県での



▲南淡庁舎

口蹄疫の発生があり甚大な被害が出ている。市の対応は。

農業振興部長 協議会を立ち上げ初期対応の必要制を認識し、積極的に消毒等、啓発活動を行っている。

問 庁舎、分庁舎等の出入口に消毒マットを敷いてくれている。危機に対する意識の高さを感じる。これだけあればいかん。

人事案件

(敬称略)

同意

- 沼島財産区管理委員 高島 榮夫(沼島) 伊藤 茂(同) 藤田 敬介(同) 上野 幸仁(同) 賀本 勝(同) 山田仁太郎(同) 市原 常幸(同)

適任

- 人権擁護委員候補者 本田 純雄(市) 森 すみ(八木)

日本共産党 蛭子 智彦 議員



住民の声をもっと聞いてください

新庁舎建設については、市民の間でまだまだ多くの疑問が残っていると思います。市民の皆さんは、原点に返って新庁舎建設をするべきかどうか、どちらが多いか知りたいと思っ

ているのか。市長はどのようにお考えですか。市長 市民説明会で意見を言わなかった人はほとんど賛成して



住民投票をするべきだと思います。市長 議会でも決めるべきかどうかが、どちらが多いか知りた

福祉を後退させる新庁舎建設

議会でも決めるための参考として住民投票をするべきだと考

また、市民説明会では福祉の後退をしないと言っていました。しかし、多くの事例で後退しています。たと

ば、福祉水道料金制度が悪くなりました。障害者の世帯で今年から福祉料金制度を取り

上げられ、水道料金が2倍になった家庭が

副市長 水道料金の問題は、市では答えられません。発言通告もありませんので答える必要はありません。

それは全くの不当な対応だ。どこまで弱い人を泣かせれば気が済むのか、今の答弁は決して認められませ

正道・無所属クラブ 谷口 博文 議員



新庁舎建設について

25年後の市内の少子高齢化率について。市長 何としても生産年齢が他の地域より減少率がとどまる様な施策を取らなければなら

新庁舎建設による経費削減効果は。市長公室長 行革によっ

削減出来た経費2億円程度が福祉施策、教育施策などに還元出来

新庁舎を一本化する。窓口に業務の事務事業の再編とし、土・日曜日、祝日は開庁出来

総務部長 新庁舎開庁後は、早期に1年36

5日開庁方式という形を取っていかうと考えているところ

旧庁舎の跡地の利活用について。

市長 1つの例として、高齢者住宅なり、福祉関係の医療機関、またシーパとの連携の取れるような施設とか考えられるわけですが、要

は地域の人の思いを早急に出して議論を進めたいと思

庁舎建設は地元業者が設計施工出来るよ

うな体制づくりをして頂きたい。

市長 出来るだけ市内の設計業者、また建設業者等に対応出来るようにはしたいなと思っ

ております。問 松帆・榎列地区の道路整備また自転車歩

道整備について。都市整備部長 道路網の全体の計画区間の整備も一応整理しながら歩道整備の計画につ

いても検討させて頂きたい。尚、淡路瓦400年祭

について、沼島観光についても質問しました。



沼島の「かみたてがみいむ」上立神岩と鞘型褶曲

ゆづるはクラブ 原口 育大 議員



民間ごきげんいとは民間へ

保育園、給食センター、国民宿舎は民間に任せるべきだと思

健康福祉部長 保育所



▲自治会一斉清掃

市長公室 在来金の算定を、単に人口と均等割でやるとばらまきにな

については、職員の処遇を含め、施設の統廃合や指定管理を含めた民間への移譲も今年度から検討していき

地域のこころは地域で

市民交流センターに交付される地域づくり交付金は、現在の地区公民館活動交付金とは全く別枠で創設され

市長公室 在来金の算定を、単に人口と均等割でやるとばらまきにな

市長公室 在来金の算定を、単に人口と均等割でやるとばらまきにな

市長公室 在来金の算定を、単に人口と均等割でやるとばらまきにな

ゆづるはクラブ 小島 一 議員



庁舎建設について

説明会で出た意見や要望をどのように取り入れていくかまた、今後の説明の方法は。

市長公室長 出された意見はとり入れるものはとり入れていき

建設委員会の設置予定と公募による市民の参加は考えているか。

市長公室長 建設委員会については、内部で検討している。そのなかで部会設置を考

はできないのか。市長公室長 市内の主だった場所での特別なサービスは考えていない。新庁舎の土、日、祝日の開庁業務は検討

観光振興について

難黒岩水仙郷の鳥獣被害対策について。産業振興部長 現在は

金網とワイヤーメッシュでの補強で対応している。今後協議しながら進めてい

きた。問 イン グランドの丘や淡路島牧場の口蹄疫対策は。

市長 出来るだけ市内の設計業者、また建設業者等に対応出来るようにはしたいなと思っ



▲増殖する野性のシカ（諭鶴羽山）

産業振興部長 羊や山羊の放牧を中止し、消毒に万全を期している。問 観光客受け入れのための産直市場等の構

想は。市長 農協、酪農、漁協、商工会等々と段階を踏んで話を進めてい



正道・無所属クラブ 久米 啓右 議員

旧庁舎耐震化と新庁舎建設比較

住民説明会後に新庁舎委員会から要求して提示された追加資料があるが、新庁舎建設に関する南あわじ市の考え方は。

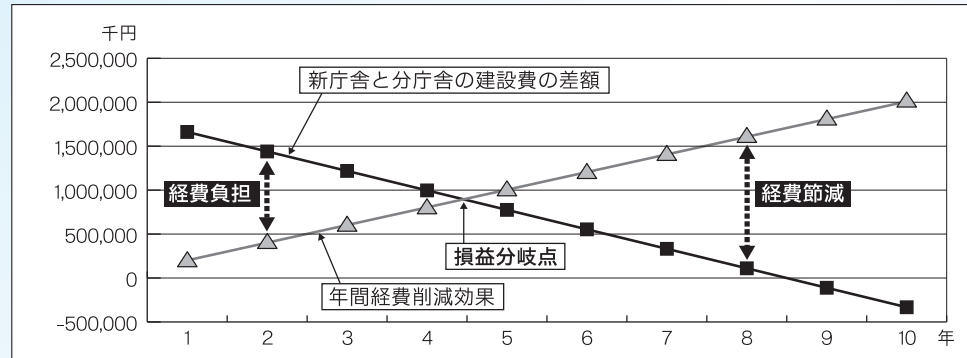
市長公室長 住民説明会で使用した新庁舎建設基本計画(案)が基本である。

追加資料の事業費比較で、新庁舎建設に伴う経費削減額と建設費との比較は行ったか。市長公室長 行っていない。

追加資料のデータを元にその関係をグラフに表示したものがあ

グラフ説明 合併特例債を使い旧庁舎を耐震化し15年後建替する案と新庁舎建設案との建設費の差額が実線(■)。年間経費削減効果を実線(△)グラフ。10年先まで比較したもの。これによる経費削減効果は毎年2億円の削減が積み上がるので右肩上がりになる。建設費差額は当初新庁舎建設費がかさみ経費負担になるが、5年後に逆転して経費節減となる。グラフによると、新庁舎建設が遅れると合併特例債が使えなくなるので建設費差額のグラフは上に移動する。つまり損益分岐点が右に移動するため、市民の負担が増加する。

耐震化旧庁舎を15年後に建替。中央庁舎建替(H46)、緑庁舎建替(H60)



建設費の差額が実線(■)。年間経費削減効果を実線(△)グラフ。10年先まで比較したもの。これによる経費削減効果は毎年2億円の削減が積み上がるので右肩上がりになる。建設費差額は当初新庁舎建設費がかさみ経費負担になるが、5年後に逆転して経費節減となる。グラフによると、新庁舎建設が遅れると合併特例債が使えなくなるので建設費差額のグラフは上に移動する。つまり損益分岐点が右に移動するため、市民の負担が増加する。



ゆづるはクラブ 柏木 剛 議員

市民満足度について

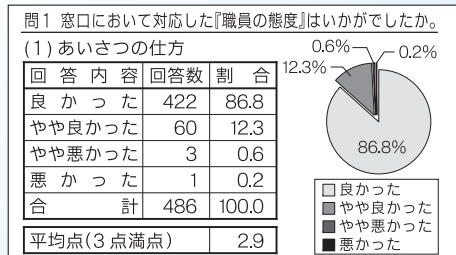
市民満足度調査の計画は。

市長公室長 今年準備し、23年度に実施予定。

毎年実施し、各課題の重要度の変化、市民満足度の変化を常に把握し、市政に反映していただきたい。

ならないので平成19年度から予算要求方式でなく、一般財源の総枠を各部に配分する方式とした。結果、人件費、借入金返済を除いて、前年比で19年度から順に2.7億円、1.25億円、1.43億円削減した。ただ、22年度は0.24億円、4年目となるとなかなか絞りきれない。情報システム関係の予算が22年度で一般会計で2.3億円、この削減は。総務部長 システムの導入、改修、保守については十分に検討し、経費が大きくならないように努力している。情報システムコストは聖域になり易く、特に保守委託料等は2、3割は減らせるのが通説。思い切った切り込みを期待する。他に総務省の電子自

市長公室長 市民のニーズとその変化を比較検討できるようにし、公表も考えていきたい。行政コストについて 内部管理経費の削減についての予算編成の方針は。財務部長 徹底した経費の削減指示をしたが、一向に成果が上



平成20年実施の窓口サービスについての市民満足度調査結果

Table with 2 columns: 重要度 (Importance) and 農業施策について (Regarding agricultural measures). The table lists various measures like '大規模直販施設建設' and '鳥獣被害対策' with their corresponding counts and percentages.

市民満足度調査結果のイメージ図



ゆづるはクラブ 出田 裕重 議員

小中学校の適正規模とは?

教育長 複式学級の小学校が3校。組替えのできない中学校が3校。複式学級の解消、クラブ活動の関係で他校へ就学校を求めていくという状況をどう解決していくかが大きな課題

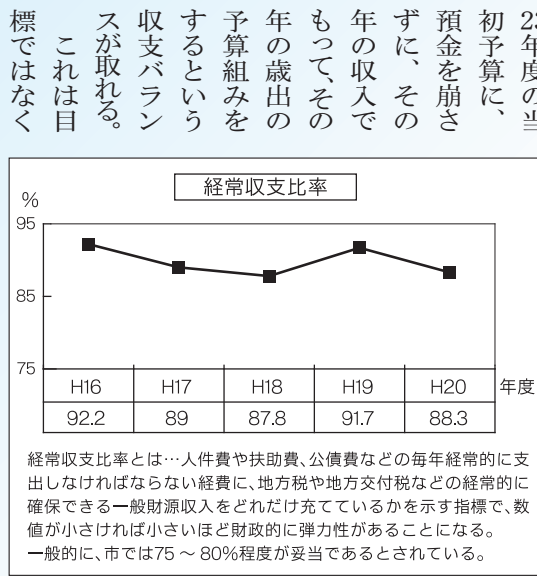
適正規模等について有識者に諮問しているが。

教育長 答申は重く受けとめ、今後の方向性を導き出していきたい。

市長 市民一人ひとりに訴えていかなければならない大きな課題。

「立志式」の実施を、中学2年時において

て、人間の基本となる「志」を明確に立て、計画性を持って人生設計を行うきっかけをつくる行事。検討を。教育長 高校入試を1年後に控え、将来何になるかということを考える大きな機会としては、すばらしい催しだと思ふ。財政健全化の現況は? 財務部長 計画どおり23年度の当初予算に、預金を崩さずに、その年の収入でもって、その年の歳出の予算組みをするという収支バランスが取れる。これは目標ではなく



経常収支比率とは...人件費や扶助費、公債費などの毎年経常的に支出しなければならない経費に、地方税や地方交付税などの経常的に確保できる一般財源収入をどれだけ充てているかを示す指標で、数値が小さければ小さいほど財政的に弾力性があることになる。一般的に、市では75～80%程度が妥当であるとされている。



ゆづるはクラブ 森上 祐治 議員

市民の小さな声から

「月曜休館」が固定している図書館だが、弾力的運用は可能か。教育部長 法的に可能。土・日曜働き月曜が休みという市民が増えている実態があるが。

教育部長 定着しているのを変更するのは、種々問題が出てくる。行政は市民の生活実態やニーズを見極め、サービスを考えるべき。有害鳥獣対策は農家だけの問題ではなく、地域全体で取り組むべき課題だと考えるが。農業振興部長 同感だ。島挙げて、全体的な認識の中で考え、努力し

ていく。地域一丸の姿勢が必要な段階だ。地域の防災力 自主防災訓練で欠かせないのは「災害時要援護者」の問題。市内の実状は。総務部長 民生委員さんの調べで、市内には2510人と把握。自分を守り、家族を守る。次にこれ「要援護者」を組織的にいかに避難所に誘導するかが、訓練の要だが、訓練の実態はどうか。総務部長 名簿と地図化したものは自治会長さんが持っている。こ



防災訓練



公明党 熊田 司 議員

中一ギャップ・不登校問題について

不登校生に対する市の取り組みについて 教育部長 現在7名の指導員を配置し、適応教室を設けて対応にあ

たっている。 不登校を予防するために、市はどのよう

ギャップの原因と考えていない。市として不登校の原因を調査し、その結果を踏まえ各学

介護保険について

認定審査に時間がかかると思われるが、現状とこれからの取り組みをどうするのか。

健康福祉部長 平成22年4・5月の認定件数は436件で認定にか



▲地域包括支援センター窓口（緑庁舎）



正道・無所属クラブ 楠 和廣 議員

道路整備等について

津井登立付近の整備の見通しについて。津井橋から津井川河口

までの道路整備について。 都市計画部長 地域の理解協力が事業進捗への要因かと思

03地区中、165地区の活動訓練について。組織リーダーの育成

総務部長

防災 成土16名。育成養成に市の補助と普及啓蒙に取組んで



▲慶野松原海岸

浸水想定区域の避難所などの見直しについて。 総務部長 避難に

慶野海岸保全について

平成22～25年人工リーフ設置、養浜事業計画について。 都市計画部長 平成22

平成25年問題視されています。慶野海岸の対策が出来る予定。 海岸線漂着ごみ対策について。 上流河川



▲福良湾津波防災ステーション



市民連合・無所属クラブ 長船 吉博 議員

防災ステーション見学での津波の脅威拭を！

海岸から迫り来る津波を実物大の映像で、大音響を交え、破壊力

福良全体を観光の町に！

福良は土地がない、小さな店の、屋台村が最適、古い祠や神社の案内板や歌碑を整備し、

政治公約の魚の棚を、ウオーキングコースを設定、福良全体で取り組む。

野鳥獣対策を

鹿は適正頭数に達してない。

農業振興部長 全体的には減っている。

イノブタ対策に何が最適か。

農産振興部長 檻です。福良のイノブタ対策に協力。



市民連合・無所属クラブ 登里 伸一 議員

格差をなくすために分庁舎方式を

平成の合併第一号の篠山市へ行き、旧町時代の旧役場と周辺を調査した。

旧6町の役場は各支所として職員・嘱託職員3名で運営している。周辺もゴーストタウン

市長公室

分庁舎の跡地利用は、新庁舎建設と並行して進めたいと考

えたいと考えます。 合併後



▲西淡庁舎

我々は分庁舎方式ですが、支所方式の自治体もあります。しかし我々は新庁舎建設で、市内21箇所交流センター方式を採用し、対応して参りたいと考えています。

閉会中の 委員会調査

議会閉会中も各常任委員会では、所管事務調査を行っています。
3月定例会以降に行われた、調査の結果を報告します。

4月の 所管事務調査

4月28日に所管事務調査を行いました。主な内容は次のとおり。

- 防災訓練施設
- 風水害に備えての対応
- 災害協定組織
- 審議会等の透明性
- 新庁舎建設基本計画の住民説明会
- 窓口業務
- 津波警報発令
- 職員採用年齢
- 役職定年制
- 神戸淡路鳴門自動車道の料金改定案への反対運動

5月の管外調査

5月25・26日の両日、滋賀県大津市・近江八幡市へ管外調査に行きました。

事業仕分け、コンプライアンスなどについて管外調査

総務常任委員会

幡市へ管外調査に行きました。

大津市 「事業仕分け」

滋賀県内の市町村で国に先駆けて行われてきた「事業仕分け」を南あわじ市の「行政評価システム」と照らし合わせ、事務事業評価制度のあり方について調査を行いました。

近江八幡市 「コンプライアンス条例」

職員の不祥事をきっかけにコンプライアンスマネージャー(県職・県警から出向)を配備しての職員倫理の向上・法令遵守や行政対象暴力などへの対策等について調査を行いました。

近江八幡市 「風景づくり条例」

住民主導で観光化や懐古主義という観点ではなく、地域文化を大切にしたい「風景づくり」を目指し、地域ごとにさまざまな規制を行っている取り組みについて調査を行いました。



▲大津市での意見交換



▲近江八幡市での調査

特養施設、学童保育について実情調査

文教厚生常任委員会

6月22日、委員会終了後、市内の特養介護老人ホーム「どんぐりの里」、広田小学校区及び市小学校区の学童保育、中央リサイクルセンターについての管内調査を行いました。

どんぐりの里

特別養護老人ホーム「どんぐりの里」は、平成5年に旧西淡町より委託され運営しており、

長期入所(54床)は、開所時より常時満床、ショートステイ(16名定員)では稼働率90%、デイサービス(20名定員)では、稼働率80%となっています。今年度、指定管理から民営化されたことにより、中長期的な経営目標が立てられ、職員の雇用面での身分保障も確保されてきたと報告がありました。施設

内では、職員が入所者及び施設利用者に対してやさしく接しておられました。
学童保育
学童保育は、市内9箇所に234人が通所している。今回は、緑老人福祉センター内での広田キッズクラブと市小学校内での市すきっぷクラブを見学しました。両クラブとも、自

沖縄の観光振興と産地直売施設の視察

産業建設常任委員会

沖縄県名護市で 滞在型観光など調査

5月6日沖縄県名護市へ、滞在型観光、他地域との連携等広域的な観光事業の取り組み等、観光振興全般について視察をした。

産地直売施設 「ちゃんぶる」市場

7日はJA沖縄の産地直売施設の「ちゃんぶる」市場を視察した。施設はJA、管理は生産者で、地域の生産者と消費者が新鮮な農

産物を通じて作り上げる産地消費をモットーとする市場で、朝採りの新鮮さ、手作りの顔が見える安心感、産地直売の安さで、売上げを伸ばしている。集客の工夫として各種イベントを実施するほか、ジャガイモの植え付け・収穫体験、にんじんの収穫体験、キッズ料理コンテスト、島野菜試食会を実施するなど、消費者と生産者の交流の場づくり並びに食育を推進している。



▲特別養護老人ホーム「どんぐりの里」



▲学童保育(市すきっぷクラブ)

主学習や読書、自由遊びや清掃等を保護者が迎えに来るまでの間にぎやかに行なわれていました。

課題としては、郊外の観光施設や近隣市町村へ観光客が流れるため、中心市街地へ観光客を呼び込むため「まちなか観光振興計画」を策定して取り組んでいる。市営住宅を街中



▲ちゃんぶる～市場



▲名護市での意見交換

これまでの検討項目

検討項目	改革区分	具体的な取り組み項目
1. 議会運営	1. 本会議の運営	1. 説明員の範囲 2. 通年議会 ※専決処分について 3. 執行部の反問権の保障 4. 議員間の自由討議 5. 議場へのパソコンの持ち込みについて
	2. 委員会の運営	1. 特別委員会設置のあり方 2. 予算・決算の特別委員会のあり方 3. 調査の進め方 ※所管事務調査の活性化 4. 説明員について 5. 委員会の政策形成過程への積極的関与 6. 委員会での自由討議と意見表明 7. 所管事務調査における質問事項の通告
	3. 行政視察	1. 視察等報告書の提出 2. 視察経費
2. 市民参加	1. 市民との連携	1. 出前講座、懇談会、報告会の実施について 2. 参考人制度・公聴会の積極的な活用 3. 請願・陳情の位置付けについて 4. 住民投票
	2. 議会情報の公開	1. 議案に対する各議員の対応の公表 2. 議長交際費の公開 3. 政務調査費の収支報告・事業の成果報告の公開 4. 一般質問の録画配信

市民に開かれた議会を目指します

議会改革特別委員会



▲特別委員会の審査風景

第31回定例会（平成22年3月）で提案された新庁舎建設基本設計業務委託料（1980万円）及び、債務負担行為（2020万円）合計4000万円を可決。議会で調査をしようと、新庁舎建設調査特別委員会（委員19名）が、議員提案され可決。南あわじ市にとって過度の財政圧迫にならないか、地域によっては、疲弊する分をどれだけ補えるのか、市民にとって親しみのもてる、また、利便性の高い庁舎にするのか、行政サービスをより低下させないようにするのかを市民の目線に立って調査しようと

するものであります。既に市長公室が市民説明会を、小学校単地区21カ所で行い、貴重なご意見をお聞きし、参考にした点の報告をうけております。委員会としても、委員それぞれが、直接市民との応対や、市民説明会に出席して、ご意見もお聞きして、4月、5月に開催された2回の委員会の中で参考意見として、討論されております。今後は、より視点・論点を的確に捉え、できる限り市民の皆様にご理解頂ける結論を出せるよう調査を深めて行くべきと、委員会活動を進めている現状であります。

市民の目線で新庁舎問題を調査

新庁舎建設調査特別委員会

全国市議会議長会 表彰

全国市議会議長会から永年議員として勤続し、地方自治の発展に寄与された方々に表彰等が贈られました。

- 勤続20年以上
 - 特別表彰
 - 中村三千雄 議員
 - 感謝状
 - （全国市議会議長会理事としての功績）
 - 川上 命 議長
 - 森田宏昭 前議長
- 勤続10年以上
 - 表彰
 - 登里伸一 議員
 - 野口健一郎 前議員



▲6月2日、議場で伝達式が行われました。左から中村議員、登里議員、川上議長

6月29日の第8回委員会まで、議会改革体系表の「議会運営」と「市民参加」に関する22項目について検討を終了し、7月からは「議会の基本的事項」の検討に入り、「議会基本条例」、「議決事件の追加」、「議員の政策能力向上」等について議論をしています。

6月定例会では、政務調査費の収支報告書等の関係書類について、従来は市の情報公開条例の手続きによって公開していたものを、閲覧書類を整備し、誰でも容易に閲覧ができるように議会運営委員会発委で条例改正が行われました。

この条例は平成23年4月1日から施行し、平成22年4月1日以降に交付された分から適用します。



▲議会改革特別委員会

第34回南あわじ市議会定例会日程（9月）

◆開会はすべて午前10時～

会議日	会議内容（予定）
第1日 9月1日(水)	1.各常任委員会調査報告 2.平成21年度南あわじ市一般会計、特別会計決算認定（説明、質疑、委員会付託） 3.条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 4.平成22年度南あわじ市一般会計、特別会計補正予算案上程（説明、質疑、委員会付託） 5.その他の案件上程（説明、質疑、一部討論・表決、委員会付託）
予備日 9月2日(木)	
第2日 9月6日(月)	1.一般質問
第3日 9月7日(火)	1.一般質問
第4日 9月9日(水)	1.一般質問 2.追加議案上程（説明、質疑、一部討論・表決、委員会付託）
予備日 9月13日(日)	
第5日 9月30日(水)	1.追加議案上程（説明、質疑、討論、表決） 2.付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）



会議日	会議内容
9月22日(水)	総務常任委員会
9月24日(金)	文教厚生常任委員会
9月27日(月)	産業建設常任委員会

※21年度決算は、決算審査特別委員会を設置し、審査を行います。審査の日程は、決算審査特別委員会設置後、9月15日(水)・16日(木)・17日(金)、21日(火、予備日)で調整を行う予定です。

①南あわじ市ホームページを開く

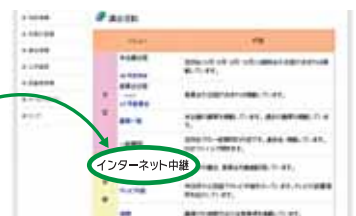
②メニューの『議会情報』をクリック



ここをクリック!!

③『インターネット中継』をクリック

ここをクリック!!



④アドレスをクリック

ここをクリック!!



インターネット

市議会中継



戦国時代の武将、藤堂高虎は、阿閉淡路守という近江の小豪族に仕え当時は槍一本、具足一領のただの侍にすぎなかった。その後、織田信澄、羽柴秀長、秀吉、関が原の合戦では東軍に加勢し、徳川家康の信頼を得て晩年は徳川家に仕えた。この時代に75歳まで生き高虎は城造りの名人でもあった。伏見城、宇和島城、江戸城等を手掛け、家康を祀る日光東照宮も造営奉行として係わっている。外様でありながら伊勢、伊賀32万石の領地を明治維新まで存続できたのは徳川家の信頼が厚かったといわれている。

現代の南あわじ市においては、市の城ともいえる新庁舎建設に論議が沸騰している。今は藤堂高虎の生きた時代とは違うが市民生活向上、地域振興につながる南あわじ市の城造りが望まれている。

（久米）

編集後記